

学校教育目標

①・②・③

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和3年度
学校だより No. 15
令和3年9月8日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

感染拡大防止の対応④

(1) 生徒に感染が確認された場合の対応について

今週に入り、学級閉鎖を行った学校(小・中)がすでに複数あります。生徒の感染が確認された場合の対応について、以下にまとめました。

他の生徒が登校後に陽性が確認された場合、その生徒の所属する学級を早退とする場合があります。

生徒の感染を確認

○学校が「濃厚接触者の候補」及び「検査の対象となる者の候補」リストを作成し、教育委員会と協議の上、濃厚接触者および検査の対象となる者を確認します。

○教育委員会が、学級閉鎖等の要否および期間を決定します。この場合の学級閉鎖等は、検査等を行い、全体像を把握するための閉鎖で、概ね数日掛かります。(1~3日程度)
○濃厚接触者の候補及び検査が必要となる者の候補となった生徒には、抗原検査キットを配付し、学校から検査方法や検査日を伝え、結果を学校に報告してもらいます。
※検査は強制ではありません

閉鎖を継続

○学校内で感染の拡大が確認された場合は、引き続き、学級閉鎖または学年閉鎖、学校閉鎖等を行います。期間は拡大の状況により判断されます。

閉鎖を解除

○学校内で感染の拡大が確認されない場合は学級等を再開し、教育活動を継続します。
○濃厚接触者となった生徒は、出席停止となります。

(2) 学級閉鎖等になった場合の対応について

①学級等について

○オンライン等により健康確認を毎日行います。
○タブレット、またはメール配信やホームページ等を活用して、学習支援を行います。

②部活動について

○陽性となった生徒が所属する部活動(発症2日前より参加している場合)は、学級閉鎖等と同じ期間、活動を停止します。
○陽性となった生徒が所属する学級の生徒など、「濃厚接触者の候補」や「検査対象となる者の候補」となる生徒は、部活動への参加を自粛します。

③定期テスト等について

○陽性または濃厚接触者となり、試験日に登校できない生徒は、登校できるようになってから試験を受けられるようにします。
○学級閉鎖等が試験日に掛かる場合は、学年または学校全体で実施日を変更します。このような場合、通知表をお渡しする時期を変更する場合があります。

【裏面へ続きます】

(3) 自主活動支援について（変更点）

- 学校だより No.13 でお伝えしました通り、自主活動支援は、「感染防止対策の徹底」を根幹として、緊急事態宣言下にあっても、生徒一人一人の体力や技術の維持向上を図るために行うものです。このため、参加はあくまでも自由となっています。
- 雨天時の外部活動の校舎内廊下等での活動は、密集・密接を避けるために、自主活動支援の期間は中止とします。このため代替策として、雨天により活動が中止となる日があった部活動に限り、その週の水曜日午後の活動を認めることとします。
 - ※水曜日午後はノー部活タイムとなっておりますが、自主活動支援期間に限り、活動を分散するための措置として、ご理解くださいますようお願いいたします。
- 9月改定の「新たな学校スタイルガイドライン」に則り、当面は朝の活動は行いません。なお、今後変更等がある場合には、改めてお知らせいたします。

(4) お願い

- 発熱や咳、下痢などの症状があった場合、一旦回復してもその後すぐに症状がぶり返し、陽性が確認されて学級閉鎖となったケースが報告されています。このため、登校につきましては、これまで以上に慎重にご判断くださいますようお願いいたします。